



# 愛光NEWS

2020年2月

2020（令和2）年3月16日発

（編集）愛光本部総務部

（TEL）043-484-6391

（メール）<http://www.rc-aikoh.or.jp/>

新型コロナウイルスが猛威を振るい、世界保健機関（WHO）は、パンデミック（世界的大流行）を表明しています。小中高等学校、特別支援学校の休校、レジャー施設の休園、センバツ高校野球の中止など不安と緊張が後を絶ちません。今年は、暖冬の影響で例年より早い桜の開花が予想されていますが、外出の自粛を考えざるを得ません。

法人でも施設利用者の健康管理と不測の事態を避けるため、イベントの中止や施設内への入出の禁止など、感染症予防対策を講じています。厳しい状況を乗り切るには、一人一人の冷静で我慢強い対応が求められています。一日も早い新型肺炎の終息を願うばかりです。

## □事業経過など（2020.2.1～）

月/日(曜)	記 事
2 / 1 (土)	AIKOH フォーラム 2020(成年後見制度の利用促進/総合相談センター研修
4 (火)	2020 年度内部登用試験/第三者委員活動（根郷通所センター）
6 (木)	業務執行理事会
9 (日)	職員実践発表会
11(火)	建国記念日
12(水)	サービス責任者会議/愛光千視協グループ法人協議会
13(木)	業務執行理事会
14(金)	労務管理者研修
15(土)	愛光後援会バリアフリー映画会「こんな夜更けにバナナかよ」
18(火)	感染症対策委員会/衛生委員会
18(火)	内部統制構築委員会（第11回）
19(水)	業務執行理事会/地域食堂ともいき（第11回）
19(水)	第三者評価（山王の家）
24(月)	振替休日
25(水)	業務執行理事会/コンプライアンス委員会
26(水)	施設長会議
26(水)	安倍首相新型コロナウイルス対応でイベントの中止自粛を要請
27(木)	安倍首相新型コロナウイルス対応で全国の小中高校の休校を要請
3 / 2(月)	予算・事業計画擦合せ（5日）

## □これからの予定

3 / 14(土)	理事会 ほか3月中のイベント等は、新型コロナウイルスの関係で中止となりました
-----------	---

## ■おもな出来事

### □新型コロナウイルス感染症対応など

法人では、感染症対策委員会を中心として新型コロナウイルス感染症に対する対応策を協議し、感染予防策を打ち出しました。予防策は次の通り。

#### 1. 感染予防策の徹底

- ・手洗い、手指消毒、施設内消毒の徹底

#### 2. 風邪症状や熱のある場合は、仕事を休むこと

- ①職員は、出勤前に検温を行い報告すること
- ②風邪症状や熱がある場合は、他人との接触を避けマスクを着用するなどして療養すること。37.5℃以上の熱が4日以上続く場合は、相談センターに相談のこと。

#### 3. 入所施設では、家族等の面会の禁止

- ・外部からの感染源を持ち込まないために、家族等の入出を禁止する。業者等の外来者には、手指消毒、検温の徹底。期間は、3月31日まで。社会情勢により変更有

#### 4. 通所施設、ショートステイ利用では、利用前の検温測定を徹底する。

- ・期間は、3月31日まで

#### 5. 外出やイベントを自粛、中止とする。

- ・不要不急の外出、人混みへの外出を自粛する（利用者、職員とも）
- ・外部の人が参加するイベントは、自粛する。
- ・中止したイベント等は下記の通り

- ① 「地域食堂ともいき」「オレンジカフェ」「介護者のつどい」
- ② 法人内のボランティア活動
- ③ はちす苑千田ホールを使用した活動
- ④ 佐倉市立児童センター休館（～3/31）
- ⑤ 佐倉市南部地域副センター休止（～3/31）
- ⑥ 南部地域福祉センターで行う教室等の中止 など

#### 6. 感染が発見された場合の職員休暇の取り扱い。

- ・就業規則上の感染症罹患の対応、休業手当の取り扱いなど

施設利用者は、感染弱者と言われ重症化リスクが高く、施設、事業所は「クラスター」（集団感染）の危険性が案じられます。事業所内部にウイルスを持ち込まないために、職員一丸となって予防策の徹底が求められています。

なお、施設サービス（通所サービス含む）利用者家族に対して、サービス利用のご理解を得るため各施設長よりご協力のお願いを文書にて発信しました。

## ■月報から

### □各事業所の新型コロナウイルス対応

#### 〈ルミエール〉

職員の出勤前の検温、出勤後の手洗い、手すり、ドアノブの消毒を毎日午前午後実施。利用者家族の面会の禁止、帰省の禁止。ショートステイ利用はなるべく玄関での対応とし家族の入室を禁止、検温の実施、37.5℃以上の場合は利用を断ることにした。行事やイベントは、外出行事を自粛し施設内で行うことに内容を変更した。

#### 〈めいわ〉

感染拡大防止のため、施設で予定していたボランティア活動を中止した。職員の外部研修も中止になっていることがほとんどである。さまざまところで生じている制限から、利用者のストレスを少しでも軽減させるために、天気の良い日は外周路散歩、土日は豆で香りを楽しむコーヒータ임、カラオケ等職員は今までより利用者と同じく時間を過ごすように意識している。

#### 〈佐倉市よもぎの園〉

新型コロナウイルスは、事業所にとっても影響が大きく出始めてきた。航空機関係の作業やウエス生産作業の減少が続く、通所利用についても、ご家族から体調を危惧し「しばらく様子を見ながら休ませます」と連絡が入り、数名の利用者が休む事態となっている。作業は全体的に減少傾向にあるが、今できることを皆で力を合わせて取り組んでいきたい。

#### 〈はちす苑〉

新型コロナウイルスの影響で、介護事業所の2割近くがマスクの在庫がすでになくなった状態とのこと。当施設も他人ごとではない。現在、約12,000枚のマスクの在庫はあるが、節約している状況で1日60枚程度使用しており約6か月分は保有している。新型コロナウイルスの感染は、まだまだ終息する気配がないため、夏までこのような状況が続くと厳しい状況になる。アルコール消毒液も購入できない状態が続いているため、感染症対策物品については、今後購入時期や余裕を持った在庫確保を検討しなければならない。

#### 〈南部児童センター〉

新型コロナウイルスのニュースが頻りに流れだしても、常連の親子は変わらず来館する。「ここだけは安全なきがするのよね～」という母親の声に、返す言葉がない。乳幼児が口にしてしまうままごと道具の消毒を、1日2回に増やして対応したが、万全とはいきれない。

そんな中、安倍首相の小中高等学校、特別支援学校の臨時休校措置のニュース。行き場の無い子どもたちが集まり、児童センターの来館者数が増えて、濃厚接触者となってしまったのではと危惧していたところ、佐倉市からの指示で3月2日から3月末日までの閉館が決まった。赤ちゃんを抱いたり、幼児とタッチしたり、接触せずには仕事ができないような現場。自身が知らない間に保菌していて、感染を広げてしまったら・・・という不安を常に抱いて業務を行ってきた。閉館が決まり、少し安堵した。

#### 〈南部地域福祉センター〉

2月27日から3月31日まで南部地域福祉センター主催の教室・講座の中止とその他イベント、事業の中止を開示した、その後佐倉市の指示で、3月5日より3月31日まで休館することが決定した。センターを利用している地域住民からは、「センターが休みになると楽しみがなくなってしまう」「体力が維持できなくなる」「出かけるところがなくなってしまう」等々の意見が聞かれた。いつになれば再開できるのか未定であるが、現在は感染症予防に努めていきたい。

### <総合相談センター>

新型コロナウイルスの影響で、予定していた行事や研修等が相次いで中止となった。この影響は3月いっぱい及ぶことになり、4月以降もどうなるか、地域住民の方からも不安な声が聞こえてくる。

地域で介護予防の体操会に参加されている方は「どこにも行くところがなくなってつまらない」と包括に来所され、ある方は「自主的にデイサービスをお休みした」と話す。この期間、誰もが活動を制限されているが、高齢者・障害者にとって大きな影響がある。高齢者は、認知症予防、介護予防には『きょうよう、きょういく』が必要だといわれている。「今日、すべき用がある、今日行くべき所がある」という意味である。それができていない今、何をして過ごすべきか、悩んでいる方も多いのではないだろうか。また、アシストの相談では、世間の情報や噂に左右され、不安を抱えて電話をかけてくる方も増えている。総合相談として、冷静に状況を確認しながら対応していきたい。

### <総務部福祉相談室>

15日愛の灯台基金主催のバリアフリー上映会「こんな夜更けにバナナかよ～愛しき実話～」をはちす苑で上映した。感染症の対策として、はちす苑の玄関を使わず、中庭から出入りするよう努め、極力施設利用者との接触を防いだ。80名程の地域住民の方が鑑賞され、中には視覚障害者の女性の方が25年ぶりに映画を楽しんだと感想を述べられ、感慨深かった。

今一番心配なことは、「あいとひかりのコンサート2020」である。6月の開催だが、ここまで準備を重ねてきた担当としては、安心、安全な状況で開催できたらと願うしかない。

### □作業工賃（ワークショップかぶらぎ）

就労継続B型事業では、利用者が仕事をして得る工賃について、年間の目標時給額を350円と設定していた。2月が終わり3月の仕事の内容も固まりつつある中、目標到達はほぼ確実といったところである。要因としては、プリント部の製本案件と広報誌など定期刊行物の受注、セットアップ部では箱組み立ての新規業者との取引開始が大きかった。また、利用者一人当たりの平均工賃月額が1万円を超える予測である。1万円を超えると次年度より報酬単価が1段高いレンジを得ることになる。

### □遅刻のメカニズム？（ジョーの家）

一般就労で働いている利用者について、遅刻が目立ってきているとのことでサービス担当者会議が開かれ、ジョーの家スタッフが出席した。

本人のやり取りの中から遅刻のメカニズムをつかもうとしたが、本人は「仕事を続けたい」というものの、なぜ開始時間に間に合わないのか明確なものがでてこない。

以前の職場でも徐々に仕事がルーズになっていき、雇い止めとなった経緯もあることから、今回本人の朝から仕事へ出かけるまでの動きを整理しつつ、世話人からも出社の声掛けを行うことになった。

### ■職員状況（2/29現在）

	人数	前月比
正職員	160	
サポート職員	43	
非常勤職員	146	
計	349	±0

○採用 1名（非常勤職員）  
○退職 1名（非常勤職員）